

<p>学校教育目標 人権尊重の精神を基盤とし、予測困難な時代を他者と共に豊かに生き抜く児童の育成を目指す。「1、よく考え工夫して学ぶ子 1、心あたたかく助け合う子 1、すすんでからだづくりに取り組む子 ◎よりよい生き方を求め続ける子」</p> <p>○目指す学校像 保護者・地域との連携によって教育活動をすすめて、子供たちが主体的に学ぶことのできる学校</p> <p>○目指す児童像 互いを尊重し合い、礼儀正しく行動できる児童</p> <p>○目指す教師像 教育公務員としての自覚をもって研鑽に励み、実践的指導力を磨く教員</p>
---

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価			
学力の向上	確かな学力の向上を目指し、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等学習の基盤となる資質・能力を育成する。	授業の改善・充実を図り、主体的に学習に取り組み、友達と協働して学びを深める児童を育成する。	主体的な学びを支える基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図る。	4 90%以上の指導場面で実施	3.1	4 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が95%	2.9	昨年度より0.2減少してはいるが、3近くは維持している。授業改善や家庭学習の取組をより強めていく。	授業改善、少人数指導、個別指導を組み合わせ、1人1台端末を適切に活用することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習熟を図っていく。	小規模校強みを生かし、目の届く教育を徹底し、基礎基本に十分に取り組むことで、評価を上げてほしい。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が85%								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が75%								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 単元ごとの習熟度テスト「知識・技能」の観点で80点以上が75%未満								
			授業形態の研究・改善を行い、課題解決力や協働して学ぶ態度を養う。	4 年間4回以上、授業改善のために授業公開をする。	3.1	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	3	4 児童が、少人数での話し合い活動を経て、協働的な学習に意欲的に取り組んでいる。	3	引き続き、授業形態の研究・改善に取り組んでいく。	引き続き、児童相互の話し合いの場を活用した学習活動を継続してほしい。	引き続き、児童相互の話し合いの場を活用した学習活動を継続してほしい。	A	
				3 年間3回以上、授業改善のために授業公開をする。		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 年間2回以上、授業改善のために授業公開をする。		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 年間2回未満、授業改善のために授業公開をする。		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			1人1台のタブレット端末を活用し、基礎基本の定着や主体的・協働的な学習の充実に役立てる。	4 1人1台端末 1日1回以上使用	3.4	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	3	学習の成果のまとめや協働的な学習の場面で、日々活用の幅が広がっている。日常的な連絡をするツールにもなっている。しかし、低学年においては毎日の活用に困難さはある。	3	職員研修で、使用方法の伝達を今後も続けていき、必要な場面で適切に活用させることを心がける。	タブレット端末もよいと思うが、活字離れが心配される。両立ができるように指導してほしい。	B		
				3 1人1台端末 ほぼ毎日使用		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 1人1台端末 週3～4日程度の使用		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 1人1台端末 週3～4日未満の使用		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
豊かな心の育成	道徳教育の充実を図り、自他を大切に、他者とよりよく生きようとする児童を育成する。	道徳教育の要である道徳科の授業実践を確実に、行い、「親切、思いやり」「礼儀」を重点に、児童の道徳性を養う。	教科書を使い、別業に則った道徳の授業を計画的に行う。	4 90%以上の指導場面で実施	3.8	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	昨年度に続けて成果指標4を維持している。	次年度も年間指導計画、別業に基づいて、進めていく。	道徳教育は重要であり、引き続き、高い成果指標の継続を願う。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			児童の変容を見取るために、道徳科の授業での振り返りの記録を残す。	4 90%以上の指導場面で実施	3.4	4 教師の90%以上が取組指標の3か4に○	4	毎時間の児童の振り返りから児童の変容を見取ることで次の学習にも生かすことができた。	4	次年度も継続	これから細やかな見守りを続けてほしい。	A		
				3 80%以上の指導場面で実施		3 教師の80%以上が取組指標の3か4に○								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 教師の70%以上が取組指標の3か4に○								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 教師の70%未満が取組指標の3か4に○								
			全教育活動を通して、児童一人一人のよさに目を向けさせる。	4 ほぼ毎日実施	3.8	4 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価90%以上	3	学校行事や各周年行事を経て、児童が自分自身を振り返ったり、活躍したりする場面が多かった。児童の肯定的評価は85%と昨年度と同等の評価をしている。	3	引き続き、児童相互の認め合いの場や、自信をもって取り組めるような場面を増やし、自己肯定感を高める指導を工夫する。	非常に難しい課題ではあるが、いじめをなくす為にも大事な事案である。学校組織として取り組んでほしい。	A		
				3 週3～4日程度の実施		3 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価80%以上								
				2 週2日程度の実施		2 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%以上								
				1 週2日未満の実施		1 「児童アンケート」で「自分にはよいところがある」肯定的評価70%未満								
健やかな心と体の育成	豊かな体験活動を通して、運動習慣の確立や体力の向上を図り、健やかな心と体を育成する。	体育科の授業の充実を図るとともに、月1回の体育朝会を計画的、組織的に実施し、体育的な活動への興味・関心を高める。	体育科の授業の充実を図るとともに、月1回の体育朝会を計画的、組織的に実施し、体育的な活動への興味・関心を高める。	4 90%以上の指導場面で実施	3.6	4 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価90%以上	4	肯定的評価92.9%。体育科の研究2年めであること、体育朝会の取組の工夫などを通して、体育的な活動への興味・関心を高められた。	次年度も継続	体の健康は心の健康につながるため非常に大事である。体力の向上も目指して取り組んでほしい。	A			
				3 80%以上の指導場面で実施		3 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価80%以上								
				2 70%以上の指導場面で実施		2 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%以上								
				1 70%未満の指導場面で実施		1 「児童アンケート」で「体育的な活動が楽しい」肯定的評価70%未満								
			いじめや問題行動の未然防止と早期対応を図るとともに、特別な支援を要する児童についても全校体制で対応する。	4 問題に対して90%以上で組織的な対応実施	3.7	4 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価90%以上	4	児童の肯定的評価は98.7%。昨年度よりさらに2%上昇。毎週の生活指導夕会で児童の情報を共有することで、全教職員の児童理解も深まった。	4	次年度も継続	大変うまくいっているようでよかった。	A		
				3 問題に対して80%以上で組織的な対応実施		3 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価80%以上								
				2 問題に対して70%以上で組織的な対応実施		2 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%以上								
				1 問題に対して70%未満で組織的な対応実施		1 「児童アンケート」で「友達と楽しく過ごしている」肯定的評価70%未満								
			信頼される学校	地域の絆を大切にしながら、地域・保護者との連携・協働を進め、信頼され、愛される学校作りを行う。教職員の資質・能力の向上に努め、健康でいきいきとやりがいをもって働く職場作りを行う。	保護者・地域と必要な情報はこまめに連絡し共有する。	保護者・地域と必要な情報はこまめに連絡し共有する。	4 90%以上の必要な情報について実施	3.7	4 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が90%以上	3	保護者会、個人面談が予定どおり実施できた。今年度は学校HP「学校の様子」にこれまでに119件の記事を掲載し、昨年度より30件近く増加している。	次年度も継続	HPの活用が進み、日頃の児童の様子がよくわかった。今後さらに協力関係を築いていきたい。	A
							3 80%以上の必要な情報について実施		3 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が80%以上					
							2 70%以上の必要な情報について実施		2 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が70%以上					
							1 70%未満の必要な情報について実施		1 保護者アンケート「相談しやすい」で肯定的評価が70%未満					
地域の教材化、人材活用を行い、地域と連携した学習を推進する。	4 3単元以上計画	3.5				4 3単元以上実施	3.5	地域巡り、安全マップ作り、「松葉の町に弟子入りだ」等の地域学習に計画通りに行うことができた。	3.5	次年度は、創立120周年を記念して、発足した「松葉の町に弟子入りだ」を教育課程に正式に位置付ける。	ぜひとも続けてほしい。	A		
	3 2単元以上計画					3 2単元以上実施								
	2 1単元以上計画					2 1単元以上実施								
	1 計画がない					1 計画がない								
教職員が組織の中で責任をもって役割を果たし、計画的に実行する。	4 OJTやミニ研修等を年間12回以上行う。	4				4 教職員のアンケートで研修に対する満足度90%以上	4	作成した年間予定に基づいて実施することができた。また必要に応じて短時間の研修も実施できた。	4	次年度も年間指導計画に基づいて、進めていく。	引き続き、取組を続けてほしい。	A		
	3 OJTやミニ研修等を年間10回以上行う。					3 教職員のアンケートで研修に対する満足度80%以上								
	2 OJTやミニ研修等を年間8回以上行う。					2 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%以上								
	1 OJTやミニ研修等を年間8回未満行う。					1 教職員のアンケートで研修に対する満足度70%未満								